

ボランティアだより 2022・11月 177号

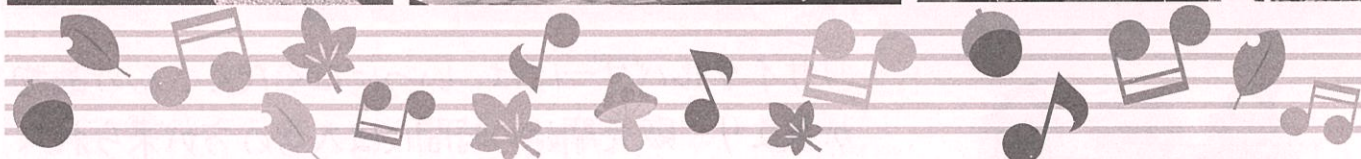
ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

第31回

ふれあい広場 三年ぶりに開催



第31回ふれあい広場が、3年ぶりに名子原体育館をメイン会場として開催されました。暖かな秋晴れの下、2年間分の思いを馳せ、大勢の人が開始時間に合わせて来場して下さいました。

新型コロナウイルスの感染が収束をしていないなか、社会福祉協議会のスタッフと実行委員会で協議を重ね検討をしました。結果、コロナ対策をしっかりと講じて開催することとなりました。受付では、検温や手指消毒とマスクの着用をお願いしました。また、味の広場においても飲食のスペースを無くし、テイクアウトでの販売となりました。

制約の多いことで大変迷惑をおかけしましたが、子どもさんからお年寄りまでが一室に会し、ふれあうことができたイベントになったと思います。

今回、参加をいただいた40の団体の方には、大変お世話になりました。今後、更なるふれあい広場となるよう期待を申し上げます。

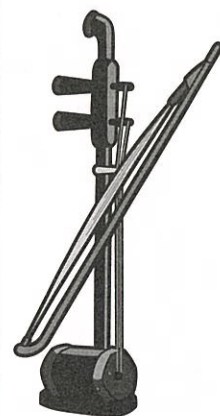
実行委員長 川瀬 八十治

ふれあい広場のステージに

歌声や音楽が戻ってきました



開会式のあとには、にこにこフレンズの皆さんによる、中国の伝統楽器「二胡」の演奏があり、青空の下優しい音色にいやされました



リサイクルバザーには、いっなくなるとくさんの品物が集まり、販売開始の時には大勢の方が来られたくさんのお買い上げをいただきました



名子原体育館の中には、町内のデイサービスや施設の皆さんの作品や、保育園の子どもさん達が「笑顔」をテーマにしたかわいらしい絵が飾られて多くの皆さんがゆっくりと見ていました



体育館内でのステージでは、レンゲ楽団の手話やウクレレを交えての歌、社協音楽隊の甘い歌声とギター演奏、目を引いたプルメリアフラダンス教室の発表そして中央小学校合唱団の透き通った歌声に会場の皆さんが集中して聞き入っていました。



ステージ発表には、四つのグループの皆さんによる歌やギター、ウクレレの演奏、フラダンスや合唱の発表がありました。来られた皆さんといっしょに楽しみました。



郷土食 五平餅完売！



ふれあい広場、味の店定番の五平餅は、独り暮らしを支える会、ぽっかぽかの会によりテイクアウトで販売されました。長年の経験者により手ぎわよく焼き上げ、多くの方にお買い求め頂き、大好評にて完売！

三年ぶりの開催となり、会場ではお久しぶり、元氣だった？会えてよかった...と会話する姿、最高の笑顔が見られ、本当に嬉しゅうでした。本来なら焼き立てを味わって頂きたいところでしたが、来年度こそは会場内の飲食も会話も気楽に楽しめようという期待が生まれました。無事ふれあい広場が出来てよかった。

久々にいろいろな皆さんに会えて笑顔がいっぱいの会場でした



バザーへのご協力

有難うございました



皆様から近年にない程のたくさんの品をご提供
いただきありがとうございました。

寒さに向う季節、暖かい寝具類、すぐ役立つ食
料品、サービス価格の衣料品など、あっという
間に消えていきました。

収益金は福祉のために大切に使用させて頂きま
すありがとうございました。 <福祉を考える会>

売上金

96,439円

ボランティアグループ紹介 「きっかけ講座」

私達『きっかけ講座』では、社協さんの依頼により、ひまわり荘の方々が使う
小物や、社協さん入口にあるソファの長座ぶとん等々、作らせてもらいました。
また社協さんからの依頼により、日赤奉仕団さんのポプリの袋、ぽっかぽかの会
さんの年末おせちを使う、お箸の袋作りを手伝わせて頂いています。またふれあ
い広場での展示即売する物を作らせて貰っています。

最近メンバーも少なくなり、また年齢も高くなりなかなか思う様に行きませ
んが、自分達の気力、体力をつけるボランティアだと思い、出来る範囲でのんび
り楽しくやっています。『ほんの少し、誰かの役に立っている』と思うと生きが
いにもなっています。

「一緒にやってみたい」と思われる方は、是非、社会福祉協議会さんの方に連絡
お願いします。

ホーイ元気？！

神事のあとに行われる直会なほらひ、コロナ禍
で自粛されていた所もだんだんに復活さ
れつつあるこの頃。

私たちにとって大きな行事が三年ぶり
に行われました。久しぶりで準備にも手
間取ったり、荷物の上げ下ろしにも体力
を使いもう限界かなという思いがよぎり
ましたが、多くの方々の力をお借りして
無事終えることが出来ました。その疲れ
を引きずりながらも、行事の反省会を名
目に、プチ慰労会を仲間と開き祝杯をあ
げました。

久しぶりに逢えた嬉しさで話も弾み、落
ち着いた頃には、親の介護から猫の介護
の話で盛り上がりおりました。

この楽しい慰労会ができたのも手間取
ったり、体力を使った行事があったから
こそ...という思いとまだ何か出来るかも
という気持ちになりました。



端野陽子